

ボランティアセンター日誌



車から車イスへ
移乗するコツを
学びました

8月25日(木)
**「めいちゃん」
車いす講習会**

患者さんが安心できるように!

宍粟総合病院ボランティア「めいちゃん」がリハビリ科先生の指導のもと、車いすの移動・移乗介助の講習会を行った。

参加者からは、「自分ができていない事を知ることができてよかった。」「車いすの操作に慣れてきた事もあり、自分流の操作になっていたことに気付かされた。」など感想をいただき、とても有意義な講習となった。

講習後のミーティングでは「患者さんの意向を第一に考え!初心を忘れないよう息なが〜〜くがんばっていこう」とみんなの心がひとつになった。これからの活動。がんばってください。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

めいちゃんメンバー募集しています

- ★平日の午前9時~11時まで2時間程度。
- ★月1回からの活動でOK!★希望に沿った日程で活動できます。

問合せ

宍粟総合病院 総務課 ☎62-2410
宍粟市社会福祉協議会 本部 ☎72-8787

ボランティアセンター日誌



「もう少し時間があれば…他の家にも…」

8月27日(土) **山崎高校PTA研修会**
「もう一度会いに行きたい」

宍粟防災センターを会場に行われた「山崎高等学校PTA研修会」に41名が参加した。

研修会では、宮城県岩沼市での災害ボランティア活動に参加した大岩辰男さん(山崎町 段)、山崎高校2年の吉岡真生人さん(一宮町 福中)、長田奈穂さん(一宮町 福野)が活動体験を発表した。

「作業の後、ありがとうと笑顔でお礼を言ってもらい反対に元気をもらった」「あのお家の人は今どうされているだろうか。もう一度会いに行きたい」といったそれぞれの思いを聞き、今の自分たちに何ができるのかを考える貴重な機会となった。

閉会后、PTA研修部が被災地でのボランティア活動支援金を呼びかけ35,540円が集まりました。

(本部・一宮支部 波多野好則)

配食サービス体験

山崎・一宮・波賀会場

ボランティアさんに教えてもらいながら、たくさんのじゃがいもの皮をむきました

～感想～

- 初めて配食サービス体験をして、お弁当作りはこんなに大変だなんて思ってもいませんでした。100個のお弁当作りは大変だったけど楽しかったです。
- お弁当を配達してみて、ボランティアはとても大切な事がわかりました。



一宮・千種会場

手話教室

手話で「ありがとう」

～感想～

- 伝えたい気持ちが大切ということ、身振りでも伝えられることがわかった。手話はむずかしかったけど、今度どこかで出会ったらあいさつをしたい。
- 手話は難しかったけど、自分の名前とか自己紹介ができてよかった。



夏休みを利用し、学校では学べない体験をしようとして11教室を開催し、延べ89名の児童、生徒が参加しました。

暑さに負けずがんばった!
サマーボランティア
2011!

読者の感想より

福祉に関する情報がとてもわかりやすいです。色々なボランティアの紹介もあるので、将来は参加してみたいです。(波賀町 女性)